

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	1		放デイは適切な広さだと思うが、児発は人数に対して適切だとは思わない。
	2	職員の配置数は適切であるか	4			利用人数・曜日に合わせて配置されている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	2	1	段差が多く、事業所に入るまで車いすは不便。トイレ・洗面・扉などの幅が狭い。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	1		打ち合わせなどの際に気付いたことがあれば意見を出し合い改善している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	1		年に一度おこなっている。集計後、職員で確認し改善している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	1		公開をしているのは知っている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			4	外部からの評価をしているのかはわからない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			研修の案内が来た際は、参加の有無を聞いている。参加しやすい環境にある。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1		モニタリング・保護者からの意見を聴き取り、次の計画に繋げたり、支援計画で確認している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1		アセスメントを年に1度取り、確認している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			活動毎に担当を決めているが、何が 필요한のか話し合い、臨機応変に対応している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	1		5領域を意識して行っているが、同じ活動になっていないか、確認をしながらおこなっている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			企画書を都度作成しながら一日の活動をとりおこなっている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			子ども一人ひとりに合わせながら活動をおこなっている。(集団行動が苦手な子には都度呼び出しながら参加してもらっている。)
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			午前中に今日の活動や担当、昨日の振り返りや気付いたこと等、スタッフ間で共有している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			送迎の関係で当日におこなう事は難しいが、特に気になった事は当日行い、その他は翌日におこなっている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			Huglにて記録を記入している。適切に書かれているか確認をして、必要な場合は訂正してもらっている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			半年にいちど担当がモニタリングをおこない、検証・見直しをして面談に備えている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4			ガイドラインにそって企画作成・支援をおこなっている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			ケース会議等には担当者が同席して、施設内での様子を共有している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4			年間行事予定は必要に応じてもらっている。下校時間は保護者・学校から連絡をもらうことができている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		1	3	医療的ケア児を受け入れていない。経験がある人材がいない為、受け入れが難しい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	1		情報を求められた際は、提供している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	1		就労先から求められた際は、提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4			研修に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			4	現在は機会を設定していない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			4	以前は参加していたが、現在は参加していない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	1		送迎・面談時に保護者と話し合い、共有をおこなっている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		3	1	面談時等に相談を受けた際は、随時行っている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	1		契約時に説明をおこなっている。変更があった際は、書面にておこなっている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	1		面談時に受け付ける事が多い。返答できることはおこなっている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4			茶話会を実施し、保護者同士の親睦を深めている。子ども達の様子を共有したり、活動内容を伝えている。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	1	苦情が来た際はすぐに報告をして、解決策を上司と相談し、保護者が納得できるように心掛けている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4		毎月お便りを配付している。ホームページを定期的に更新している。
	35	個人情報に十分注意しているか	4		鍵付きの保管庫にて管理して持ち帰らないようにしている。名前のあるものはシュレッターで捨ている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4		言葉使い・伝える内容に注意しておこなっている。面談の際に情報共有をおこなっている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4		子ども食堂・バザーの開催で地域交流をおこなっている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	1	契約時に説明しているが、台風・降雪の前にも改めて連絡をしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4		定期的に避難訓練をおこなっている。(火災・地震を交互におこなっている)
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4		年に一度研修に参加している。振り返る機会ができています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	1	契約の際に説明をしている。身体拘束の場面は無いが、どうしたらいいか手順を周知している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	3	アレルギーの子は現在いないが、保護者・医師の申し出に基づいて対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	1	ファイルに挟み共有している。事例があった際は、打ち合わせで共有・書類に残している。